

東京大学附属図書館

アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門

UEHIRO PROJECT FOR THE ASIAN RESEARCH LIBRARY
THE UNIVERSITY OF TOKYO LIBRARY SYSTEM

2025

U-PARL のミッション

1. 文理融合・東西融合フォーラムの形成

U-PARL が事務局となって、Society5.0 における社会課題の解決を目指すフォーラムを、本学の教員・大学院生等を中心として形成します。2024 年度には SHIBUYA QWS スクランブルホールにて 第一回文理融合・東西融合フォーラム 「明日を心豊かに過ごすには？アジアの視点からみる Society5.0」を開催しました。2025 年度は「Society5.0 における人のつながり」をテーマとして、ワークショップ、討論会、講演会等を開催します。



2. デジタル資源の作成

田中武雄氏旧蔵写真等資料



資料のデジタル公開に際してボトルネックとなる肖像権の問題を乗り越えて公開への道筋を描いています。

消滅危機言語デジタルアーカイブ
本プロジェクトは、危機言語の文字・音声・映像資料をデジタル化することを目的としています。今年度はその第一歩として、南シベリアのテュルク系少数言語ジョル語を取り上げ、「ジョル語詩と朗読」を公開しています。

ジョル語の詩と朗読

ダイバーコレクション

東京大学東洋文化研究所が所蔵するアラビア文字写本コレクションのデータベースを、多様なステークホルダーと協力し、アクセシビリティと使いやすさの向上を目指して再構築しています。

アジア研究図書館デジタルコレクション
東京大学のアジア研究のハブを構築するため、学内に所蔵される貴重な資料を集約してデジタル化しています。収蔵点数を増やすだけでなく、新たなサブコレクションの設置に向けて準備が進んでいます。



3. アジア研究図書館の運営

アジア研究図書館は、多様な現地語文献を含むアジア関係資料を収集し、学内のアジア関係プロジェクト・研究者を繋ぐプラットフォームとして、新しい形の「研究する図書館」となることを目指しています。

U-PARL は、同図書館の蔵書構築やサブジェクト・ライブラリアン相当業務を支援しています。2024 年度にはレクチャールームを利用してトークイベントを開催するとともに、もう一つの研究部門 RASARL と協働して資料紹介コーナー「アジアを知る一冊」を開始しました。



4. 社会還元

アジア研究や図書館に関する様々な情報を積極的に発信しています。シンポジウム・講演会を開催するだけでなく、講演録や動画等で広く一般に公開します。





部門長あいさつ

本年度から荻輪顕量前部門長の後任を務めることになりました。U-PARL がこれまで積み上げてきた実績を踏まえ、その活動を着実に発展させるために微力を尽くしたいと思います。目下、U-PARL「Society5.0における人の生き方」をテーマに掲げた第三期の各種事業に着手しており、2年目に当たる本年度もこれを推進してまいります。また、アジア研究図書館の充実にも引き続き協力していく所存です。

六反田豊（大学院人文社会系研究科教授）



兼務教員：六反田豊（部門長）、高橋美保（副部門長）、上原究一（副部門長）、渡邊英徳、丸川知雄、大向一輝

特任教員：一色大悟（副部門長・特任准教授）、太田絵里奈（特任助教）

特任研究員：アクマタリエワ ジャクシルク、荒木達雄、田中あき、中井勇人
学術専門職員：菅崎千秋

特任専門職員：安井恵美子、澤裕章

事務補佐員：戸内葉月

U-PARLとは

東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門 Uehiro Project for the Asian Research Library (U-PARL) は、公益財団法人上廣倫理財団の寄付を受けて、2014年4月に附属図書館に設置された研究組織です。

U-PARL は、第一期（2014～2018年度）においてはアジア研究図書館の構築支援を主要なミッションとし、第二期（2019～2023年度）には協働型アジア研究の推進によるアジア研究拠点の形成、研究図書館機能開拓研究、人材育成と社会還元、アジア研究図書館構築支援を活動の柱としてきました。

第三期（2024～2028年度）には、アジア研究図書館の一層の活性化のため、1)「Society 5.0における人の生き方」をテーマとする東西融合・文理融合フォーラム、2) デジタル資源の作成、3) アジア研究図書館運営、4) 社会還元という4つの事業を実施しています。

教員・研究員の専門分野

六反田 豊 朝鮮中世・近世史

高橋 美保 臨床心理システム論

上原 究一 中国古典文学、書誌学

海野 聡 建築史・文化財保存

渡邊 英徳 情報デザイン・デジタルアーカイブ

丸川 知雄 中国経済・産業経済

大向 一輝 デジタル人文学、デジタルアーカイブ

一色 大悟 仏教学等

太田（塚田）絵里奈 前近代イスラーム史、地中海史

アクマタリエワ ジャクシルク 記述言語学、チュルク諸語

荒木 達雄 中国語圏通俗文藝

田中 あき 文学をひとつの鏡としたベトナム戦争（抗米救国戦争）の多面的考察

中井 勇人 ポスト・モンゴル時代東北アジア史、ジュシェン史

“アジア研究”の範囲

中央ユーラシア

基幹プロジェクトとして「中央ユーラシア文献コレクション」と「消滅危機言語のデジタル・アーカイブ」が始動。公開・改訂を重ね、新たな価値を創出します。

東アジア（韓国・朝鮮）



ワークショップ「近代植民地期の地図と写真」を開催し U-PARL 購入資料の性格や資料的価値について再検討しました。

西アジア

東洋文化研究所所蔵のアラビア文字写本群「ダイバーコレクション」アーカイブの再構築事業をはじめ、デジタル・ヒューマニティーズを用いた新しいイスラーム史研究の手法を開拓しています。

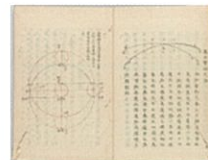


東アジア（中国）

「アジア研究図書館デジタルコレクション」への水滸伝解題の追加公開、本学卒業生の故高島俊男氏の遺作「水滸伝語彙辞典稿」の整理などを行いました。

南アジア

本学に所蔵される江戸時代のインド学研究書（仏教天文学、俱舎学）を積極的にデジタル化しています。



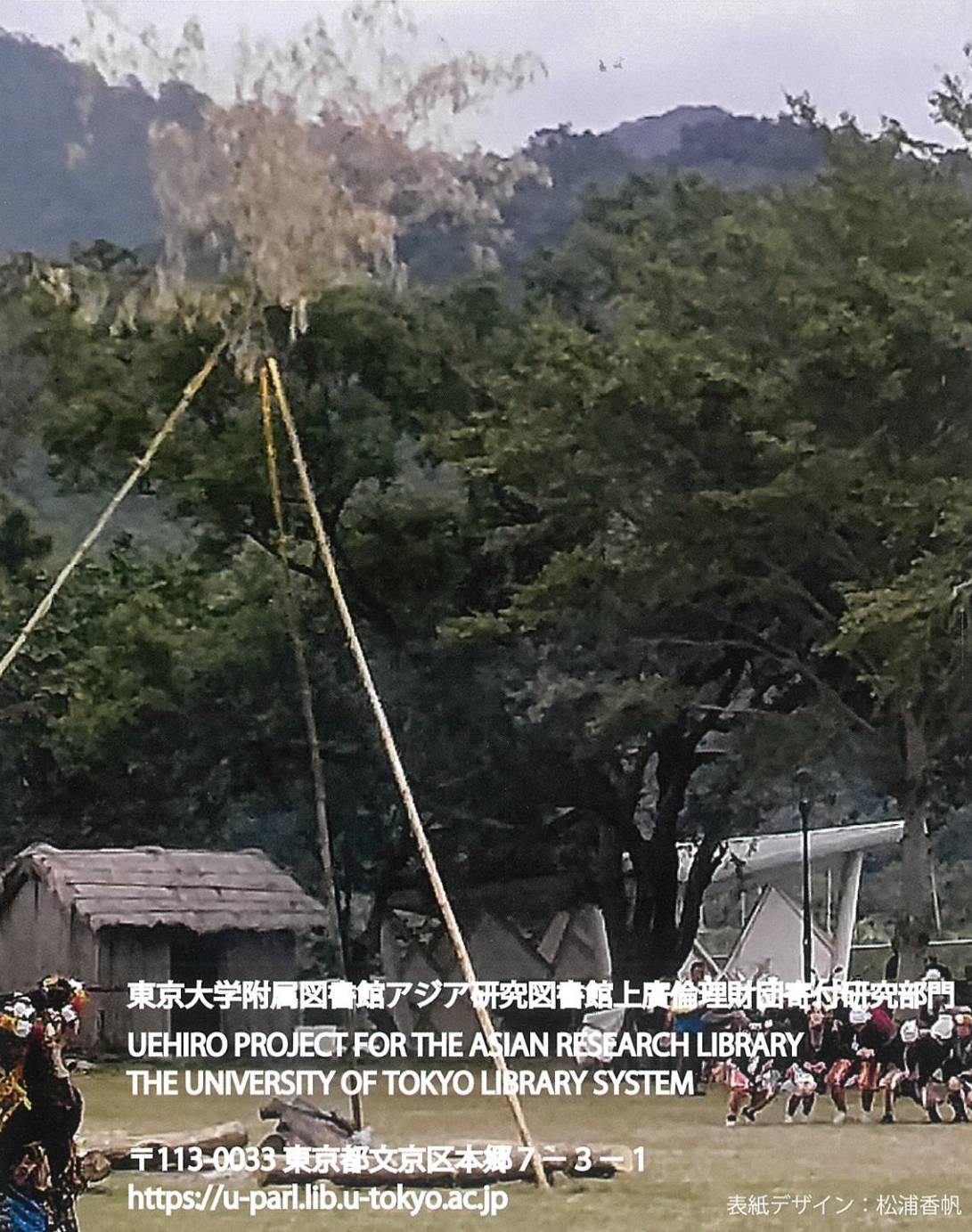
東京大学附属図書館蔵『梵曆議考』

東南アジア

東南アジアを念頭に入れたミニレクチャーを実施し、「ひとのつながり」をテーマに、図書館を軸として、東京大学内の知的成果を分野横断的に社会に還元します。

U-PARL では広大なアジアを「1. アジア・世界」「2. 東アジア」「3. 東南アジア」「4. 南アジア」「5. 中央ユーラシア」「6. 西アジア」に区分し、それぞれに担当研究者を配置しています。

国立国会図書館デジタルコレクション「地球全圖」（司馬江漢峻・請求記号：亥二-53）を加工して掲載。



東京大学附属図書館アジア研究図書館上野倫理財団寄付研究部門
UEHIRO PROJECT FOR THE ASIAN RESEARCH LIBRARY
THE UNIVERSITY OF TOKYO LIBRARY SYSTEM

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
<https://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp>

表紙デザイン：松浦香帆